

# 京都教区時報

第49号  
再刊第1号

発行所  
京都市中京区河原町三条  
カトリック京都司教区  
広報室 (Tel 211-3768)  
編集責任者 村上透磨  
編集部 教理センター  
田中司教認可



司教様近影

## 内部対話を先ず願って

— 教区時報の復刊に際し —

京都司教 田中健一

て取り組むべきものと思います。

日本の全国レベルでの「広報」も次のような重点5項目を提案しています。①広報の理論と実践（広報教令、同司牧指針の勉強、講演会など）②教会内の対話（カトリック新聞、教区報、小教区、グループ報などの充実利用）

③教会外への対話（教会ニュースを地方新聞などに流す、キリシタン遺跡の紹介、良書、番組の普及利用）④広報の教育（送り手、受け手）⑤組織づくり（広報担当者を中心に）

従って今回の教区時報の復刊は広報活動の中の一部に過ぎませんが、私たちに出来る最も具体的なものとして、教区共同体づくりに、又その連帯に大きな役割を果たして頂きたいと思えますので、教区ニュースを中心に、みなさんに親しみやすい形で、みなさんの手で育てて頂きたいと思えます。

▽五月二十日(金)

カリタスジャパン担当司祭会議  
於・中央協議会

議題・五十二年「愛の運動」配分について、その他

▽五月二十一日(土)

信徒のための「小教区会計の統一用紙」に関する説明会

於・河原町カトリック会館一階 教理研究室

▽五月二十四日(火)～二十六日(木)

司教会議  
於・中央協議会

### 教区短信



▽六月八日(水)～九日(木)

広報委員会総会  
於・中央協議会

▽六月十五日(水)～十七日(金)

青少年司牧全国担当司祭会議  
於・戸塚聖母の園修道院

テーマ・日本のカトリック青年にどのような意識を強めるか、司牧者の役割

▽六月十二日(日) 午後七時～九時

京都教区正義と平和協議会（準備会）  
責任者・越知健神父

於・河原町カトリック会館五階会議室

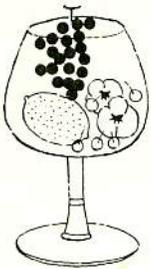
毎月第二日曜日に開かれています。關心のある方どなたでも参加できます。

先日記念したご昇天祭「第十一回世界広報の日」を期して、教区時報の復刊がゆるされる運びになったことを大変うれしく思います。教区のみなさんの相互交流を少しでも深めることが出来ることを希望しております。

この半年間、私は教区内を一生懸命に巡回しました。そして感じさせられたことの一つに、各県、各ブロック、各小教区、施設においてキリスト者としての生き方が色々工夫と努力を払いながら展開されている事実でした。しかし、その現場と交流のバイブをもっていない者は、同じ教区についても知らないまま、終ってしまおうという事でした。そしてこのために私は教区報の復刊を秘かに考えておりました。

教会でいう「広報」の意味は、「公報」「官報」のように上から下への一方的なお知らせではなく、第二バチカン公會議が「広報に關する教令」をいち早く発布して、「社会的コミニケーション」と呼んでいるように、現代、

驚異的技術の発達をもった社会的な広がりをもちコミュニケーション「マスコミ」「ミニコミ」を正しく受け止めて、信仰とも結びつけ



# 京都教区人事移動

## 奈良(マリリスト会担当)地区も

### 人事移動

新司教誕生と共に懸案であった邦人司祭の移動が五月一日付け発令され次の新任地が決った。実際の移動は六月中旬になる予定。

又奈良地区(マリリスト会担当地区)でも移動が発表された。

(牧者は変っても真の牧者キリストは変わるわけはありません)

( )は前任地

### 教区付司祭

△司教総代理 村上真理雄師(桃山)

## 南婦連新役員を決定

去る四月十九日、京都府南部カトリック婦人連合会(略称南婦連)総会を河原町教会に於いて開催。御ミサ後総会を開き次の役員を改選し新発足した。

会長 川原広子(高野教会)

副会長 加藤富貴子(衣笠教会)

書記 大内幸子(高野教会)

会計 平竹洋子(河原町教会)

岡田久美子(河原町教会)

新役員のもとに一層の発展が期待される。

△河原町主任 東門陽二郎師(西陣)

△河原町助任 F・ゴダード師(米国)

△高野主任 丸山吉高師(司教総代理)

△西陣主任 松田友明師(高野)

△河原町 (メリノール会)

△大和郡山主任 J・ルーニ師(奈良)

△大和高田助任 J・カーティ師

△大和八木主任代理 P・グリーン師

△登美ヶ丘主任代理 J・ウォルシュ師

△A・グリーン師(留守中)

△大和郡山主任 村上透磨師(河原町助任)

△伏見主任 滝野正三郎師(西院助任)

△マニラ留学 松本三郎師(伏見)

△マリリスト会司祭(奈良県)

△大和郡山主任 J・ルーニ師(奈良)

△大和高田助任 J・カーティ師

△大和八木主任代理 P・グリーン師

△登美ヶ丘主任代理 J・ウォルシュ師

△A・グリーン師(留守中)

△大和郡山主任 村上透磨師(河原町助任)

△伏見主任 滝野正三郎師(西院助任)

△マニラ留学 松本三郎師(伏見)

△マリリスト会司祭(奈良県)

△大和郡山主任 J・ルーニ師(奈良)

△大和高田助任 J・カーティ師

△大和八木主任代理 P・グリーン師

△登美ヶ丘主任代理 J・ウォルシュ師

△A・グリーン師(留守中)

## さつき晴れの記念ミサ

### 安土セミナリヨ史跡公園

五月八日、さつき晴れの空に、つつじが美しく映える、安土セミナリヨ史跡公園で記念ミサが行われた。ミサは、田中健一司教、滋賀県下各教会主任司祭らの共同司式で行われ、約二百名の信徒が参加した。

安土セミナリヨは、織田信長の助けによって建てられたカトリック小神学校である。後に日本二十六聖人の一人となったパウロ三木をはじめ、二十数名の少年たちが、寄宿して勉学に励んでいたが、信長暗殺の後、安土城と共に焼失した。それが、史跡公園となったのは二年前である。安土町とカトリック滋賀県連合会

の尽力によって、貴重なカトリック史跡が残されるようになった。公園入口には白柳誠一東京大司教の揮毫による「セミナリヨ址」と刻まれた石碑が立ち、公園中央には、「セミナリヨ由来文」がはめこまれた自然石がある。

今年の記念ミサは、初めて晴天に恵まれ、汗ばむ程の陽射しの中で、四百年前の先人達と心をつなげて、神の国建設への思いを新たにしたい。ミサの後、連合会会長などの挨拶があり、母の日にならんで、お母さん達にカーネーションのプレゼントがあった。

各種損害保険のご契約はおまかせ下さい

損害保険の引受・危険管理指導

日本損害保険協会 公認特別総合資格

安田火災所属 江渕昭義

電話 (075) 593-7028

タイプ・活版 } 各種印刷  
オフセット }

## 今道印刷

〒602 京都市上京区天神筋一条下  
ル下堅町152  
電話(075)463-6024番

地域環境に調和した  
ユニークな都市創りをめざして

## 金山工務店

本社 大阪市東区内淡路町1丁目2番地  
電話 942-5461番(代)  
滋賀支店 滋賀県大津市皇子ヶ丘1丁目2-3  
電話 24-1816番(代)

# 高山右近の遺徳をしのぶ右近祭

## 右近ゆかりの榛原町で

五月五日、奈良県榛原町において、第八回高山右近祭が行われた。榛原は、右近が十二才の時、母と五人の兄弟及び百五十人の家来と共に洗礼を受けた沢城址のあるところである。例年は、昭和四十五年当地の「高山右近の会」により一般協力者の浄財をもって建立された記念碑の側で行われるが、当日は、生憎の雨のため近くの小学校に会場を移し午前十一時より、まず受洗記念ミサがマリスタ会日本管区表ウイックス師を主式者に右近が城主として住んだ高槻の教会の山田国吉師、マリスタ会のグリーン、ハーコム、ルーニイ、カーティの五人の司祭によって共同ミサがささげられた。

## 舞鶴聖母幼稚園竣工祝別式

五月十三日舞鶴聖母幼稚園において、園舎の竣工祝別式が田中司教をお迎えして行われた。この幼稚園は昭和二十二年旧陸軍兵舎を利用して始められ、多くの卒園児を送り出しており、卒園児の父兄幼稚園関係者等から久しく新園舎の実現が望まれており、今度関係者の方々の努力が実って新装されたものである。

茶道においても千利休の七哲の一人であり、書道、俳諧等にも造詣が深く、それにちなんでミサ中奉献の時には、前八木教会信徒会長の友村氏によってお茶が立てられ献茶が行われ同時に信徒の作品で



ある書道、詩歌の奉納も行われた。お茶を立てている間は奈良教会の有志によって箏曲の演奏があった。又ミサの終りを飾り約二百人の子供達が日の丸と右近の家紋を描いた旗を振って聖歌「よろこびの旗」を歌い典礼を盛り上げた。つづいて榛原町主催の記念式典及び祝賀会が榛原比布郵便局長の司会ですすめられ福井榛原町長、南山大学の青山師等の祝辞があり、その後町の有志の方々の心づくしのおにぎりやビールで一同喜びを分かち合った。

尚この行事は毎年榛原町が町の一大行事として主催も計画し、八木教会が典礼部門を受けもつ事になっており、ますます右近への関心が持たれはじめています。

レデンブートル会に聖司教誕生  
六月十九日(日)ローマ聖ペトロ大聖堂においてレデンブートル会員、ジョン・ノイマン司教の列聖式が行われる。  
彼は一八一一年三月二十八日、ボヘミア(現在のチェコスロバキア)に生まれ、ブライグ大司教区の神学校に学んだ。宣教師になることを希望して一八三六年合衆国に渡り、ニューヨークで叙階、一八四二年レデンブートル会に入会、一八五二年(フライデルフィア教区)司教に叙階された。そして教区内に四十時間の礼拝、聖母への信心等を盛んにし、又青少年の教育にも関心を持ち、教会付属学校制度の基礎を固めた。ノイマン司教は謙遜で貧しい人々を愛し、自らも貧しく生き一八六〇年一月五日四十八才で生涯を終えた。

## 召命を育てよう!

### 三重県カト・婦人大会

三重県では、五月十五日の日曜日、四日市の教会でカトリック婦人大会が開催された。今年のテーマは「召命について」で、京都教区の召命の係をしているメリノール会のチャイコフスキー師による「召命について」及びメリノール会のシスターローザによる「家庭教育のあり方」の二講話が行われ分科会ではこの二つの講話をテーマにグループに分かれて話し合われた。参加者は約二百人で司教修道者の召命の少ない折から切実なこの問題を熱心に討議しあった。

<p>時計・宝石・眼鏡 新京都市信販・ホームクーポン・加盟店 <b>美賞戸田時計店</b> 竹田街道十条上ル東側 TEL 691-5706 伏見信用金庫藤ノ森支店前 TEL 641-1437</p>	<p> <b>建築設計監理</b> 一級建築士事務所 <b>環境設計</b> 〒601 京都市南区東九条下殿田町15 (市電九条車庫) ☎京都(075)671-6038</p>	<p>新しい包装資材と包装機械 <b>ミツマ製紐株式会社</b> 下京区油小路通五条上ル 電話 京都(075)341-8201(代)</p>
---	---	--

# お知らせ

◎市民教養講座 人生観シリーズ

月 日 六月十二日(日)、二十六日(日)  
時間 午後二時～四時

場 所 河原町教会 地下大ホール  
講 師 十二日・安斉伸上智大学教授  
二十六日・小林有方司教(前仙  
台教区長)

定 員 二百名(先着順)

会 費 千円(一回五百円)

申込先 教理センター・最寄りの教会

◎成人のための要理教育研修会

月 日 六日十四日(火)～六月十六日(木)  
場 所 河原町三条カトリック会館  
六階ホール

講 師 コロンバン会社司牧委員会チーム  
詳細は教理センターまで

◎第二回京都教区教会学校教師の会  
夏期研修会

月 日 八月三日(水)～八月五日(金)

場 所 洛星高校

会 費 八千円

対 象 教会学校教師(教師になりたい  
方も含む)

定 員 四十名  
申込先 教理センター

◎日本カテキ斯塔会研修会

月 日 八月十六日(火)～八月十八日(木)

場 所 大津市打出浜 鳩の浜荘

対 象 カテキスタだけでなく、社会の  
福音化に働く信徒

詳細は、長浜教会伝道士まで

◎神学生の合宿

月 日 八月二十五日～八月二十七日

対 象 神学生及び一般青年男子

詳細は未定

## 南蛮寺説法(1)

### 時報再刊にあたって 村上透磨神父

この度「教区時報」を再刊したいとの司教様はじめ司祭評議会の御意もあり、「教理センター」の全面的協力を得てまがりなりにもこの様な時報を発行する運びとなりました。

顧みまずとアカン神父様や西野神父様の殆んど個人的な努力によって何度か発行され中断されてまいりました。

この度は「教理センター」の熱心なスタッフにより再発行にこぎつける事になったのですが、やはり皆様の関心と御協力がなければ到底続けていけるものではありません。

そのためにはまず「お読み下さる事」「関心をもってニュースを提供してくださる事」「自分達のものとして大切にしス

タッフを激励して下さる事」又「よりよくするためいろいろと御忠告御指導下さる事」等をお願いしたいと思います。

今「時報」の性格等を考えながら聖書の向を思いおこしておりますと「行きて

万民に福音を伝えなさい」と云う言葉がふさわしいのか、「私の羊私の小羊を牧しなさい」と云う言葉をこの時報に求めているのか、或いは「羊飼いのたとえ話」の中で時々忘れられがちな「羊同志の関係」つまり信者同志が互によく知り合い励まし合うためなのかを問わねばなりません。

然し手はじめに私達に要求されているのは「仲間同志」(私達は皆仲間である)「家族同志」(私達は皆家族である)が

互いに知り合う事であり、今の所「宣教」とか「司牧」とか云った大それた目的を持つべきではない様に思われます。

然し家族の事を互いに知り合う事が如何に大切であるかは皆さんよく痛感なさっていられる事ではないかと思えます。隣の教会で何をしているか、何が喜びであり、何が苦しみなのか、何がうまくいって何がうまく行かないか(勿論他人の家にやたらと口ばしを入れると云う事であってはなりません)全く無関心であって「うちの教会」「うちの神父さん

以外はそれは殆ど他の宗派の教会、司祭と云った考えすら心の底にあるのではないかと反省させられる事があるのではないかと思えます。そういつたいわば閉ざれた心(それはキリスト教的とは云えないでしょう)を開く意味においてもこの時報が役立つと願っています。

皆様の御協力をお願いいたします。

## 京都カトリック

### 教理センター

#### 仁王門通りに別館完成

今までカトリック会館五階で業務を行っていた教理センター(所長ジョージ・ヘーシベック師)は五月三十日、別館の改装が完成し左京区仁王門通りに移転することになった。これは教理センターの仕事の範囲が日々多くなり現在の事務所が手狭になってきた折、田中司教より教区所有の建物を提供されたものである。

教理センターは、この建物を改装し大部分のセンターの仕事はこの別館の事務所で行うことにした。この機会にセンターの仕事の内容をより一層充実させ、教区の各方面へのサービスをはかりたいと計画している。別館完成にちなみ、より多くの方々に教理センターの仕事を知っていただくため、五月三十日から六月四日までの毎日、午後一時から五時まで、一般公開する予定である。現在の仕事は各種講演、研修会の企画運営、視聴覚教材及び機器の貸出し、教会学校教師の会の運営、京都教区時報及びグッドニュースレターの発行等であるが、広報の部門のみカトリック会館五階の現在の事務所に住所を置く。

京都カトリック教理センター別館の住所  
京都市左京区仁王門通新高倉東入  
北門前町四六九

TEL 七六一一六三五五

読者の頁「タマス」途上

投稿

小さき信徒の声

岡村 裕

「現代人の喜びと希望、悲しみと苦しみ、とりわけ、貧しい人々とすべて苦しんでいる人々のものは、キリストの弟子たちの喜びと希望、悲しみと苦しみでもある。真に人間的な事ながら、キリストの弟子たちの心の中に反響を呼び起こさないようなものは一つもない。」

現代世界憲章 (1)

「喜びと希望」という光に充ちた言葉に続いて「悲しみと苦しみ」という闇に閉ざされた言葉が続く。この様な相反する両面が、私たちの現に生きている地上の世界そのものの姿である。

そして、最終の節に、「この道によって、全世界の人々はいきいきとした希望へと励まされる。この希望は聖霊の賜であつて、ついに主の栄光の輝く祖国において、平和と最高の幸福の中に受け入れられるという希望である。」——現代世界憲章 93と記されている。

出発点は、「喜びと希望」その道程は、「悲しみと苦しみ」そして、終着点は、「平和と幸福」である。そしてそのなかを首尾一貫しているのは聖霊の働きであ

り、たまものである。それは「悲しみと苦しみ」ではなく、「喜びと希望」であり、感謝であり、歓喜である。その喜びが悲しみを克服していく道程であり、その希望が苦しみを克服していくプロセスなのである。

この道は、キリストイエズスを通して私たちに開かれている。

悲しみと苦しみに慟哭し乍ら、しかも尚、根源的に超克されているという、歓喜と希望の讃歌である。私たちは、「悲しみと苦しみ」のわかち合い、そしてそれを克服し突破していく源泉を何処に求めべきか。

先づ第一に「みことば」を通して、第二に「秘跡」を通して、祈りと自己犠牲を前提として御ミサに与ること、それに基づいていたゞいた恩恵を起爆剤として、第三に、福音の「こゝろ」を実践的行動の裡に具現化すること。

日常性のなかに、信仰が如何に根付き、息付き、生々躍動しているのか。

神を見詰め、キリストの光と愛に導かれ乍ら、自分が自分の裡なるものに絶えず問いかけていく。そして、その自分が人と人との繋がりの中で、小さな連帯の輪を拡げていく。

「喜びと希望」が「悲しみと苦しみ」

を透して、信仰の日常性のなかに、如何に具現化されていくか、に就いて、日々努力に努力を積み重ね乍ら生きていくことにかかっているのではなからうか。キリストの「こゝろ」を純粹につきつめて、誠実に生き貫いていく。そのなかにしか、

私たちの「平和と幸福」は見出し得ないのではなからうか。

夫々の人びとが、神の招きに誠実に応えながら、「キリストを生きていく」ことにかかっている。

聖霊の導きに、私たちがどれだけ、そしてどこまで献身して従っていくのか、その純粹性とバイタリティこそが、私たちの信仰の深さであり、純度の尊さに繋がっていくのではなからうか。

(河原町教会)



時報文藝

中島 健一

風薫る老の肌にも生氣満つ

春眠や覚めて時報の刻を知る

大空の雲足早し鯉のぼり

揚雲雀天に心を誘いけり

笛や柔き土肌割りて出づ

(九条教会信徒)

タオル

TEL 京都(075)611-2241(代)

丸勢タオル(有)

(元鳥丸六条)

京・伏見区桃山町丹後33  
外環状線桃山南口東  
桃山教会所属 能勢 慎



総合建築・土木

コンクリート工事全般

河村建設株式会社

京都市中京区河原町通夷川上る指物町320の2  
電話(京都075)231-1137~9

製菓材料・舶来食品  
和洋酒・修道院製クッキー  
ミサ用ブドー酒

タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入  
電話(221)0976-7

特集

司教様の九ヶ月

新司教の足取りを追って

京都教区に新司教が誕生して、早九ヶ月になろうとしている。その間田中司教は、驚くほどの精力とスピードで、教区内をくまなく巡られた。編集部もその足取りを追ってみて、今さらながらその多忙さに眼をみはるばかりである。

この膨大なスケジュールから、教区内外の一つ一つの出来事を大切にしていることとする、田中司教の熱意が伝わってくる。私達教区民も、この熱意に答えるよう、信仰共同体としての京都教区の発展のため努力していきたい。共同体は決して一人二人の努力だけで、成長していくものではないのだから。

最後に、多忙な毎日を送っておられる司教の健康を祈りたい。

- 9月 23 司教叙階式(洛星)
27 教区付邦人司祭団と初会合
10月 2 南壮連代表者と懇親会。
3 初聖体指導研修会(教理センター)
5-6 駐日パチカン大使館、横浜、名古屋司教館訪問。
12 司教顧問会、初会合。カルジナル

- 13 14世界宗教者青年京都大会(延暦寺)出席。マリスト会総長代理来訪。
16 衣笠教会訪問(衣笠墓地、カルメル会、聖ヨゼフ整肢園)。
17 (旧)滋賀県公式訪問ミサ(大津)、メリノール修道院訪問。
18 22教区付邦人司祭懇想会(唐崎)。
21 洛星中高校創立記念ミサ、講演。
24 (旧)三重県公式訪問ミサ(津)、津カトリック保育園。久居教会訪問。
25 セント・ジョセフ高校、三雲カトリック児童園、南勢カトリック特老、松阪カトリック特老、松阪カトリック老、大阪カトリック老、伊勢教会、同保育園訪問。
26 カロンドレッド・ヨセフ修道院ミサ、伊賀上野教会、亀山教会、鈴鹿教会、四日市海星中高校、エスコラピオス修道院、聖母の家、四日市教会、同幼稚園、メリノール女子学院中高校、桑名教会、桑名メリノール幼稚園訪問。
28 南婦連総会ミサ(三条)
29 神の園特老堅信、精華教会、同幼稚園、聖母カテキスタハイム、八幡教会、田辺教会、青谷教会、同幼稚園訪問。
30 聖母訪問会総長来訪。田辺聖愛幼稚園改築落成式。
31 (旧)大和八木教会堅信、ウルストラ修道院、御所教会、聖ヨセフホーム(老)、カノッサ修道院、大和高田教会、同幼稚園、
シヤルトルの聖パウロ修道院、奈良教会、同幼稚園、善きサマリア人修道院、平城ニータウン訪問。
11月 2 国際宗教同志会(三条)
3 浦上キリシタン配流者ミサ(大和郡山)。
4 カロンドレッドヨセフ会総長来訪
5 聖母学院訪問。
6 草津病院訪問。
7 K C Y R委員会(三条)、西本願寺見学。
8 (旧)津南教会10周年ミサ。
9 京都カテキスタ会集会(尾鷲)。
10 9-11司教臨時総会(東京)。
11 ナドウ会(銀閣寺)。
12 (旧)伏見近隣七教会合同ミサ。
13 京都Y B U訪問。
14 司教顧問会(三条)。
15 Y B U理事会(東京)。大使館夕食会(デスクール広報長官)。
16 東京大司教館訪問。
17 (旧)北白川教会堅信。親交会(今出川ドミニカン)。
18 邦人司祭月例会(高野)、隣青連集(会衣笠)。
19 教区司祭懇親会(三条)。
20 聖ヨセフ整肢園公式訪問。
21 京都新聞、近畿放送に記者会見。
22 綾部教会、報恩寺教会、福知山教会、東舞鶴、中舞鶴教会、日星高校、聖母訪問会舞鶴修道院訪問。
23 (旧)京都北部公式訪問ミサ堅信(西舞鶴)。
24 鶴、寿莊堅信、天台修道院。
25 宮津教会、宮津暁星幼、岩滝、加悦教会、丹後大宮、峰山、網野教会訪問。
26 訪問会宮津修道院、宮津暁星高校訪問。講演。園部こひつじの園訪問。
27 小さき姉妹会ミサ。
28 長岡教会10周年堅信。京都S V P総会(九条)。
29 ウイチタ・ヨセフ総長来訪。旧司祭評解散総会。
30 園部、亀岡教会、聖家族高校訪問。
31 男子ドミニコ修道院訪問。
12月 1 コレアン・センターミサ。
2 司教顧問会(三条)。
3 (旧)奈良県公式訪問ミサ(奈良)。登美ヶ丘教会。ノートルダム修道院、富雄教会訪問。
4 宇治カルメル会訪問。西陣、小山教会訪問。
5 エスコラピオス会総長代理来訪。桂教会、聖母学生会(西院)訪問。
6 聖ヨセフ整肢園クリスマス会。
7 (旧)長浜教会ミサ、同保育園、彦根教会、同幼稚園訪問。
8 新司祭評議会発足総会。
9 カロンドレッドヨセフ京都修道院訪問。
10 京都聖愛会、女子カルメル会訪問。
11 男子オプスデイ訪問。市民クリスマスミサ(三条)。
12 クリスマス花厳ミサ。
13 (旧)カトリック会館職員クリスマス会

- (三条)。
- 27 教区邦人司祭月例会、司教顧問会。  
28 高松里帰り、教区内を挨拶訪問。  
昭和52年1月
- 9 (日)河原町典礼部新年会(三条)。  
10 緊急顧問会。  
14 聖母の家代表者会(四日市)。  
15 四日市教会30周年記念ミサ、桑名教会ミサ。  
16 (日)鈴鹿教会ミサ。  
18 駐比、駐日大使一行米洛観光。  
19 オブステイ(男女)訪問。  
22 召命練成会(ノートルダム)。  
23 修女連研修(三条)、JCN A京都支部(三条)。  
24 教区邦人司祭月例会(三条)。  
25 駐日大使来訪。  
26 駐日大使と高松司教を見舞う。  
27 司教顧問会。  
28 京都働く人の家落成(九条)。  
30 (日)見世教会ミサ。  
31 京都NCK集会(精華)。
- 2月
- 2 京都カトリック教理センター四周年記念(三条)。  
3 フランシスコ連合会長来訪問。  
5 日本26聖人の夕べ(京都勤労会館)。  
6 (日)園部教会ミサ。  
7 司祭評議会常任委員会。  
9 古屋司教「喜寿の集い」(三条)。  
13 (日)カトリック書道京都展(三条)。  
14 司祭評議会(三条)。  
21 司祭月例会(三条)。  
24 聖母学院高校卒業式。
- 25 ノートルダム高校卒業式。  
27 (日)四旬節教書、彦根教会ミサ、彦根カトリック幼訪問、京都学連代表来訪。
- 3月
- 1 メリノール女子学院高校卒業式(四日市)。  
2 聖家族幼稚園室落成式(園部)。  
6 (日)聖心のウルスラ修道会(二雲訪問)。  
7 セント・ヨセフ高校卒業式(津)。  
8 バチカン外交官来洛。  
9 長岡カトリック幼稚園司教座巡礼。  
10 ノートルダム女子大卒業式。  
10 ウイチタヨゼフ本部(竜安寺)訪問。  
13 ノートルダム小学卒業式ノートルダム高木町、ノートルダム清水町修道院訪問。  
16 世界宗教者平和研修会(知恩院)。  
18 聖母短大卒業式。  
20 (日)聖母の家学園卒業式(四日市)。  
21 故ブラザークレメント追悼ミサ(三条)。  
22 司教顧問会。  
23 衣笠墓苑委(三条)。司祭評常任委、教区学法律事会(三条)。  
24 聖母スベール会誓願式。  
25 教区付司祭月例会。  
28 教区事務所新体制で発足。
- 4月
- 1 善きサマリア人修道会誓願式。  
2 (日)草津教会ミサ、信楽、甲南ニュータウン、野州訪問。  
4 司祭評議会総会。  
7 聖香油聖別ミサ。
- 10 復活祭荘厳ミサ。  
11 男子メリノール会イースターデイナ(唐崎)。  
17 山科教会ミサ、山国教会ミサ、宇津教会ミサ。  
18 教区村司祭月例会(園部)。  
19 南婦連総会ミサ(三条)。  
20 YBU25周年ミサ、同パーティー。司教顧問会。  
21 教区カリタス会社法の理事、施設長会(三条)、教区内男女管区長会(伏見)。  
25 27日本男子管区長協總會(東京)、東京カトリック神学院訪問。  
30 聖家族高校創立記念ミサ。
- 5月
- 1 (日)西陣教会堅信ミサ。  
2 男子メリノール会集会(唐崎)。  
3 幼きイエズス修道女会渡日百年祭(大阪)。  
5 ヴィアートルタ食会、総長代理と面談。  
6 司祭評常任委。  
8 (日)安土セミナリオ跡記念ミサ(滋賀)。  
正義と平和準備会(三条)。  
小教区会計要領説明会(三条)。  
10 聖母の家10周年、同学園5周年、こひつじの苑5周年、駐タイ大使来訪、聖母の騎士フランシスコ修女会総長、副総長来訪、エスコラピオス会訪問。  
13 訪問会天台修道院ミサ、特老寿荘訪問、日星高校講演、舞鶴聖母幼落成式。
- 6月
- 6・7月の予定
- 2 3日本修道女連盟總會(横浜)。  
5 (日)西院教会堅信。  
6 教区司祭評議会総会(三条)。  
8 全国広報担当者会(東京)。  
9 11神学生養成担当者会(東京)。  
12 (日)桃山教会堅信、南社連集會。  
正義と平和委員会。  
19 (日)九条教会堅信。  
26 (日)松阪教会堅信、正義と平和委員会聖ベトロ献金日。
- 7月
- 3 (日)登美ヶ丘教会堅信。  
10 (日)田辺教会堅信。  
21 司祭評議会常任委員会。
- 15 (日)高野教会堅信ミサ、親交会ミサ(衣笠)。  
22 (日)奈良教会堅信ミサ、あせびセンター落成式(奈良)。  
24 28日本司教協總會(東京)。  
28 召命研修会。  
29 河原町堅信ミサ。  
30 教区学法の理事會、評議員會、メリノール女子修道会総長来訪。  
31 聖母学院創立記念ミサ。



芽生え

京都地区五十年を

ふりかえって

今から五十年前の京都教区を知っている人がどの位おられるであろうか。古屋司教様ほどその当時の事を知っておられる方はおられないのではないだろうか。

私達編集部は、「京都教区時報」の復刊を契機として、古屋司教様の現役時代の思い出、エピソード等を伺いながら、京都教区の歴史をふりかえり、この「芽生え」が明日の京都教区の歩みへの第一歩になればと願う次第である。

この文章は編集部が司教様の談話を責任をもってまとめたものである。

× × × × × × × × × ×

私が司祭に叙階されたのは昭和三年七月一日神戸の下山手教会でカステラニエ司教様からでした。叙階後、すぐ大阪の玉造教会に赴任し長田神父様を助けながら六年間働きました。当時は求道者も多く一緒に勉強して洗礼を受けた人は六年間に五十数名に及びます。

昭和九年三月付で私は大阪より京都の河原町教会に移り、バリミッシン会のウツト師の助任として働くことになりました。当時京都はまだ大阪教区の一部になっておりバリミッシン会の司祭達によって司牧されていました。日本人司祭は私一人で教会も各県に一つ位しかなく京都市内にも河原町教会と西陣に家を借りて、集会所としていたものだけでした。

そんな時、メリノール宣教会が京都、滋賀の布教をバチカンからまかせられることになったのです。ところが丁度そのころ満州事変、支那事変が勃発し、アメリカとの関係も次第に悪化しつつあり、その様な事態の時にアメリカ人司祭がやってくることに大きな不安を感じた京都の信者達は、反対の署名運動を始めました。それでやむを得ず、メリノール会の司祭達は滋賀から宣教活動を開始したのです。まず瀬田にあるさざなみ別荘とそれから彦根にも家を買ってそこに住むことになりました。そして機会があれば京都で布教したいとその「時」の来るのを待

っていました。中でもパトリック・バーン師は初代教区長もされた方ですが京都で仕事ができるようにいろいろと力を尽くされました。女子メリノール会のシスター明石の義兄にあたる明石嘉間氏(当時近江八幡で開業医をしていた)や、大津の池田亀郎氏(私が大阪にいた頃洗礼をさすけた人)を通していろいろ働きかけていました。



私が西陣の集会所(今の西陣教会)で婦人会の人達に公教要理をしていた時のこと、突然メリノール会のバーン師が訪ねて来られました。これがバーン師と私の最初の出会いです。この時のバーン師の印象は昨日の事のように私の頭に焼きついていきます。柔和で落ちついた、優しさにあふれたバーン師の雰囲気は今まで私が持っていたアメリカ人に対する印象と随分違うものでした。私はその人柄にすっかり惚れ込み、丁度そこに居合わせた婦人達にバーン師を紹介して言いました。「この神父様は京都でキリスト教を伝道するために働きたいと望んでおられます。でも多くの京都の信者達は、アメリカ人の宣教師が京都に入ることに反対しています。こんなに親切で暖かい人に対するのはおかしいと思いませんか」婦人達も私のことばにこそぞって賛成してくれました。こんな風にしてバーン師は京都に入ることができたのです。そして河原町教会の主任だったウツト師は大阪に移り、バーン師は河原町教会の主任となり私は彼の助任司祭として引き続き河原町教会に住むことになりました。この様にして京都南部と滋賀地区はメリノール会にその宣教がまかせられることになりました。ただ舞鶴、宮津等の京都府北部は軍港があったためもあり、大阪教区にまかせられました。メリノール会が最初に建てた教会は高野教会で、その後大津教会や草津病院も建つ等、その宣教活動も一層本格化してきました。しかし日本は、日一日と戦争の暗い影におおわれていきついに昭和十六年十二月八日、大平洋戦争に突入しました。この開戦によって、日本のカトリック教会内の事態も急転してしまうのです。

続く

開心の意味



(編集後記)

時報が対く者も読む話の手段ならば「互い者も編集者に心を開けあおう」書

古屋司教様の京都教区の昔話には熱がこもり、取材に行った私達も思わず身を乗り出し聞き入る。テレビに出たら視聴率上昇疑いなし。(O)

なか／＼大変な仕事です。根がつきない様に願っています。でも皆さんの助けがあれば何とかなるでしょう。助けてね。(MT)

原稿の山と取組んだ六人組。どうなることか案じたものの、田中司教様のはげましとチームの熱におされ先づはめでたくゴールイン。(Y)

若葉が青空のしたたりを身にまといつつ微笑んでいるようです。そんな新鮮さをこの復刊第一号に感じていただければ、と思います。(亜)

自分も結構若いつもりでいたのにどうやら司教様の方がもっとお若いようである。記事が片寄ったりしていいいかととても心配だ。(KN)